



1月の果物:キウイ(佐渡畑野地区で栽培)

本年も「佐渡米」をお引き立てのほど宜しくお願いいたします。

新年、明けましておめでとうございます。日頃佐渡米をご購入して頂き、誠にありがとうございます。今年も皆様にご満足いただけるように精進して行きたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



平成23年を振り返って・・・

23年度産の検査実績(12月28日現在)から、主食用コシヒカリの1等米比率は73.7%となりました。

内訳を見ると格落ちの一番の原因は除青未熟米が多かったようです。

大まかな要因として、8月の高温、9月のフェーン現象、落水期以降の少雨とのことです。

食味値に関しては平均値89.1(測定機種サタケ)と高く、おいしいお米に育ちました。

新装開店！ 建物の機能が増えました

機能集約のため、佐渡農協の中央営農センターに資材課が新たに統合されました。

敷地内には税務相談所も新設され、更なる営農支援体制が整い、10日には新設オープンセレモニーが開催されました。



田んぼの土の健康診断

土壌診断実施中！

佐渡市認証制度に沿った取り組みが年々増加している佐渡。その認証米の土台の条件として土壌診断をしなければなりません。

土壌診断とは、土を構成している成分を診断し、どんな状態であるかを調べることです。

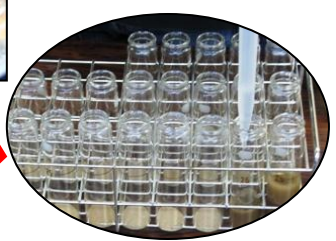
そういった意味から認証米の条件に関係なく、田んぼの的確な管理ができるようにと毎年の土壌診断の実施を勧めています。

実は田んぼだけでなく、果樹園地や畑でも土壌診断は行われており、佐渡全体で安定した品質の農産物を生産できるように取り組んでいます。

採取された土



試薬と一緒に試験管に分ける



ろ過された抽出液を測定機にかける

浸透機にかけ

生きものの語り

佐渡では、エコアイランドや環境保全の取組として様々な活動を行っています。その中でも、生産者自身が田んぼの生きものの目線で作る、生きものの語りというものがあります。

これは特に何かを強制するものではなく、生きものとの共生を目指して、更にはお金だけではない価値観を皆さんに理解してもらうために自由形式で募集しています。

また、この他にも同じ取組として生きものの川柳などがあります。その名称の通り、生きものを題材に五・七・五形式で川柳を作るものです。

昔の良き日を思い出したものや、逆に現在の農業の情勢になぞらえて考えられたもの等、様々な内容の作品が投稿されています。※

※生きものの語りはJA佐渡のHPでも見ることができます。

JA 佐渡 HP → <http://www.ja-sado-niigata.or.jp>

編集人；佐渡農業協同組合
営農部米穀課 渡部・吉田

beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp